

## 大津市中心市街地活性化協議会設立総会 議事録

---

日 時： 平成 20年 1月 23日（水） 午後 7時 00分～午後 8時 30分

場 所： 明日都浜大津 5階 中会議室

参加者： 委 員 宮崎、山田、酒井、磯村、上田、別所、丸山、服部、戸田  
町田、石川、八森、遠藤、勝部、木村、中井、福井、白井、井上、  
高田  
オブザーバー 古川、森脇  
事務局 富江、徳永、西村  
大津市 寺田、堀出、高野、高木

（ 50音順・敬称略 ）

---

### 1．開会（大津市・堀出）

### 2．委員紹介

### 3．あいさつ（大津商工会議所・宮崎会頭、大津市・佐藤副市長）

### 4．議題

#### (1)大津市中心市街地活性化協議会規約の承認について

事務局より説明後全会一致で承認

#### (2)会長及び副会長、監事の選任

委員より司会一任の声があり、事務局案提案を受け、

会長 大津まちなか元気回復委員会会長・酒井英夫 を全会一致で承認

会長あいさつの後、規約に基づき会長より副会長、監事が指名され、

副会長 大津商工会議所女性会会長・遠藤系子及び大津市商店街連盟理事長・石川順三  
を全会一致で承認

#### (3)今後の進め方について

資料に基づき高田委員より説明

### 5．意見交換

- ・すでに県の認可が下りている事業、すでに始動している事業に関しては、協議会で再度審議を受ける必要はあるのか。
- ・すでに進んでいる個別事業については、必要な場面で報告等をしてもらえばよい。調整が必要なことがあれば協議会を活用することになる。

- ・今日の話聞いて、専門部会を早く立ち上げることが重要だと認識した。それならば、なるべく早く、今日にでも専門部会を立ち上げて、トップを決めなければ進まないのではないか。
- ・もし基本計画が作成されているのなら、なるべく早く、会議の前にいただきたい。会議の前にいただけたら事前に読むこともできるが、当日配布されただけでは、十分に検討できない。
- ・基本計画は、市のホームページで見ることが出来る。メンバーの方には、早急に送付する。
- ・専門部会は、「やりたい」と思う人がいて初めて立ち上がるものなので、例えば福祉の専門部会を立ち上げようといったときに、事業によってやるという方がいらっしゃれば立ち上げればよい。当日資料に記載されている専門部会(仮)は、すでにやろうという有志の方がいるという話を聞いているものだ。
- ・今日中にすべての専門部会及びそのトップを決める必要はないと思うが、例えば琵琶湖専門部会だったら、専門家である琵琶湖汽船の社長になってもらい、誰か協力するものを選んでもらえば計画が円滑に進むのではないか。
- ・今日は第1回ということで、全体の話聞いて、スピードアップするならした方がいいと思う。今日は、骨子ということで、全体の把握を目的としていると理解してほしい。
- ・専門部会に関しては、今日すぐに決めるということは難しいと思うが、次の会議まで決らないというのでは進んでいかないので、この場で一回話題にでたものについては、有志の方がいるなら、後日報告を聞くという事でお互い前向きの動きについては了承するという申し合わせをしておいて、具体的には事務局の方で一つ一つ立ち上げていくという手順だけ申し合わせをすればよいだろう。
- ・基本計画をみても、「大津らしさ」はどこにあるのかというのが見えてこない。例えば、町家の再生にしても、大津でなくても長浜でも同じような事業を行なっている。そのような中で、大津としてのあり方を議論していく必要があるのではないか。そういった意味で、専門部会も、市の基本構想の中に「大津らしさ」を肉付けするような議論を進めていく必要がある。
- ・商工会議所の中で、「大津市の地盤沈下」に対する危機感があるが、基本計画をみても、本日の資料をみても、この地盤沈下にどう対応していくのかが見えてこない。
- ・大津市全体の底上げの話は協議会で話すのは、テーマが大きすぎる。
- ・エコツーリズムは大津に適していると思うが、基本理念のようなものをつけないと、風格のあるまちづくりにならないのではないか。
- ・委員はそれぞれ、基本計画に大きなイメージをもっているが、本基本計画は、5年後見据えた計画なので、その点に気をつけて協議していきたい。

## 6. 閉会

株式会社まちづくり大津山田取締役のあいさつにより閉会